

卒業おめでとう、ようこそ同窓会へ

震天動地

「震天動地」は、1918年当時の山口沢之助校長の揮毫により、誕生した応援団旗の言葉で、「海邦養秀」と共に先輩から後輩に受け継がれている首里高校の精神文化の一つです。

(一社)養秀同窓会・沖縄県立一中・首里高等学校

No.23
2023.3.1

SHINTENDOUCHI

卒業生号

未来を担う君たちへ
海邦養秀の精神を繋ぐ！

先輩から
後輩へ



NPO 法人 1万人井戸端会議 代表理事
繁多川公民館 館長

南 信乃介さん

(首里高 55 期)

染織デザイン科 78 期卒業制作壁画「精彩」



タイトルの「精彩」とは、生气、迫力、美しい彩りを意味します。壁画は主題となる巨木ガジュマルが力強く地に根を張り、天高く枝を広げ続ける生命力を色彩豊かに表したものです。ガジュマルは、どんな過酷な状況においても育つ丈夫さを持っています。そのエネルギッシュな姿を画面全体に優雅で大胆に配置し表現しました。また、複雑に伸びゆく幹や枝に血管を重ね合わせてイメージし表しています。激しい情熱や感情の血潮を感じ取ってもらえると嬉しいです。背景に広がる縁起の良い七宝つなぎ紋はガジュマルの葉を演出し、中央から緑、黄緑、黄、オレンジと色調豊かに繋がりと広がり表現しています。七宝つなぎには「ご縁」「円満」「調和」などの意味があり、「良い縁に恵まれるように」と願いを込めています。ガジュマルの左右を飾る植物モモタマナは、方言でクワディーサーと呼び親しまれている木で、色とりどりに配色した大きな葉、黄とオレンジでまとめた木の実、紫とピンクでまとめた花など、全体を鮮やかにバランスとって配色しました。最後に左右両側からピンク、オレンジ、黄へと変わりゆく背景色は、世界を包み込む暖かな陽光を表す配色です。



公民館広場で在来大豆を活かしたマルシェ開催



高齢者の経験を地域に活かす「すくりむん認定」



公民館を支える中高生のボランティア



学童クラブ開所式

NPO法人1万人井戸端会議 代表理事 南 信乃介
繁多川公民館 館長 (首里高55期)

先輩から後輩へ

大事にしたいものは？

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。

今、どんな気持ちですか？

私の場合は、最高の友人達と離れる
さみしさと、進学する期待がまじり、
そんな世界にいられたことへの感謝で
満たされていたように思います。

大好きな沖縄にきつといつか自分の
できることを身に付けて帰ってきた
い。そして尊敬できる仲間たち(変だ
けど面白い)とのまた磨き合える再会
を夢見ていました。それは今、実現し
ています。

さて卒業後の自分の体験から皆さん
にいくつかメッセージを送りたいと思
います。

『自分の中のゆるぎない、大事にし
たいものを見つけよう』

私は卒業後、京都精華大学へ進学しま
す。そこでは環境社会学という環境問
題を暮らしや社会から捉える学問が魅
力的でした。沖縄から離れたからこそ
沖縄の地域づくりや持続可能性を考え

ずにはいられなくなり、これが私の大
事にしたいものだと思信しました。県
外の触れたことのない文化や自然、人
たちとの出会いとの中で湧いて出た純
粋な気持ちでありました。その気持ち
が今の自分の仕事に大きな影響を与え
ています。これは決して進学者でなく
ても常に問い続けることが必要だと思
います。

『ちゃんとよく食べて健康でいてく
ださい』

それから、健康というのは当たり前前
のことですが、私はついついお腹を満た
すことを優先し立ちくらみをおこすこ
とがありました。お金が足りなかった
り、困ったことがあれば近くに住む
仲間や信頼できる誰かと分かち合った
り、頼ってください。依存ではなくお
互い様の心で頼れることは、生き抜く
ための自分の力です。

私も、養秀同窓会関西支部の皆さん
にはおいしいものと愛情をいっぱい受
け取りました。与えられて、支えられ
てばかりの20代でした(今もそうで
すが...)。

私は、NPO法人1万人井戸端会議
という法人を立ち上げ、代表理事とし



(一社) 養秀同窓会
会長 與儀 毅
(首里高 21 期)

県立首里高等学校第78期生388名の皆さんご卒業おめでとうございます。

皆さんは三年間首里高等学校で勉強や部活動等充実した学園生活を過ごし、それぞれ素晴らしい成果を上げ、晴れて本日の卒業式を迎えられたと思います。

これから皆さんには、大学進学や就職等新しい生活が始まります。

家族や知人、友人の期待を背に受け、自分自身を奮い立たせ、新しい環境の中で、これまで以上に努力を重ね、これまでにない交友関係を広げ、新たな冒険と新鮮な体験をと人生設計を意気込んでいる方もいると思います。

「わたくしの好きな作家に『城山三郎』という方がいます。この方は『経済小説』という新しいジャンルを作った高名な作家ですが、その作品に「少しだけ無理をして生きる」という短編が有ります。

デビュー当時、文学界新人賞、直木賞を受賞し、寝る暇がないほど忙しく仕事をこなしたそうですが、忙しさのあまり体調を崩し入院をしたそうです。

彼には、伊藤整という一橋大学の先輩作家がいますが、「あなたはこれから先ブ

口の作家としてとしてやっていくのだから、いつも自分を少しだけ無理な状態の中に置くようにしなさい」と言われたそうです。

絶えず努力は必要である。ただ、漫然と自然の成り行き任せるのはなく、無理はしなければいけない。けれどそれが大変な無理だと言いき詰まり段々作品がだめになる。あるいは体を壊してしまふ。

体を壊すほどの無理では無く、「少しだけ無理をして生きる」ことがやがて大きな実りと、知らず知らずのうちに自分の世界が思わぬ広がりやと深みを持てるかもしれない、という趣旨のことを書いています。

皆さんも、焦ることなく、このような考え方、生き方もあると絶えず心の片隅に置いてください。

首里高等学校の伝統と「海邦養秀」の精神そして培った交友関係が、あなた方一人ひとりの明るい未来を切り開いていくことを期待しております。

最後に、養秀同窓会会長として、皆さんのご入会を心から歓迎いたします。皆さんの若い力と他者への思いやりが、同窓会の活性化に必ず役立つと思います。

【略歴】一九七〇年琉球大学法学部法政学科卒業、沖縄国際海洋博覧協会勤務後、県リソー卜開発公社に入社し、アクアポリス管理財団・観光開発公社・観光連盟との吸収合併を担当。二〇〇〇年沖縄サミット会場「万国津梁館」初代館長、元沖縄コンベンションセンター館長。元沖縄県調停協会連合会副会長

て公民館の運営（那覇市繁多川公民館館長を兼務）、学童クラブの運営やまちづくりに関する事業を行ってあります。いつぞや志した持続可能な地域づくりをミッションに掲げ、地域再生大賞、文部科学省優良公民館表彰など地域の皆さんとともに行った活動が評価されています。近年は、同世代のエジプト人と出会ったことが縁でエジプトに公民館をつくり、運営に関わっています。身近な地域から格差の解消や学び合う文化、協力する文化、チャレンジし実現する文化を創り出すべく現地の皆さんと頑張っています。ローカルの人や資源を活かしあえる地域づくりが、グローバルな視点から求められています。

言語や文化の違いもあり困難はありますが、ギリギリのところでもいつも思いつくのは卒業式で感じた感謝と人間愛の温かい気持ちです。きっとこれは沖縄のチムグクルです。

最後に私をたくましく育んでくれた同じ母校で学んだみなさん。私は、あなた方に会ってもいないのに大好きです。きっと先輩方も。みなさんがみなさんらしく生きる事が、未来の世界をより良いものにしていくでしょう。

PROFILE

南 信乃介

京都精華大学環境社会学科卒業。NPO法人1万人井戸端会議を立ち上げ代表理事、那覇市繁多川公民館館長を務める。地域文化を活かした事業は地域再生大賞、文部科学省優良公民館表彰、相互評価特別賞を受賞。その地域づくりのJICA草の根支援事業を活用し、エジプトに展開している。「公民館のしあさって」共著。



エジプトで若い世代と公民館について話す



エジプト「ギザ」のピラミッド近くに公民館ができた

一般社団法人養秀同窓会の活動

代議員総会・交流会

年に一度、5月に「ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城（旧：グランドキャッスル）」で行います。総会の前には、首里高校吹奏楽部による演奏もあります。



一中健児之塔 慰霊祭

毎年6月23日（慰霊の日）に一中健児之塔慰霊祭を挙げています。戦争で、犠牲になった307名の健児と職員の御霊を慰霊し恒久平和を願います。



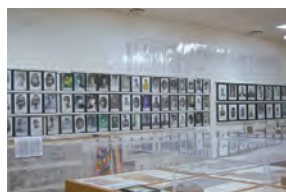
養秀育英奨学金の運営と人材育成

創立130周年を記念して創設された「養秀育英奨学金制度」に、さらに「入学支度金制度」「海外留学補助金制度」「在校生支援奨学金制度」を加え充実した内容で人材育成に努めています。



一中学徒隊資料展示室

沖縄戦の悲惨さを後世に伝え、恒久平和の道しるべにしたいと考え、犠牲になった一中学徒の遺書や遺影が展示されています。6月には、新一年生に対して平和学習を行っています。



在校生への支援

学校支援費として毎年380万円の予算を組み首里高校に支援をしています。

- 内訳 ●進路指導補助費180万円 ●部活動補助費150万円
●首里高校・那覇高校スポーツ交流費20万円
●学校環境整備費30万円

養秀文庫

同窓会館の一階に養秀文庫を設けています。沖縄学の父、伊波普猷氏をはじめ、東恩納寛惇氏や同窓会員の著書、国学、一中、首里高校に関する資料なども所蔵しています。



会館の利用

同窓生をはじめ、在校生の弓道部・カルタ部・卓球部などが使っています。



養秀セミナー

同窓会を講師に迎えてセミナーを開催しています。（年3回開催）



サークル活動

体育系・文科系・社会活動など、各種サークルが活動しています。



◆◆◆ 養秀同窓会の一年（概要） ◆◆◆

- 4月・首里高入学式参列・「震天動地」発行（新入生）
- 5月・「海邦養秀」発行（全会員・在校生）・代議員総会・交流会
- 6月・一中健児之塔慰霊祭・首里高新1年生へ平和学習
- 9月・養秀ゴルフ大会
- 3月・首里高卒業式参列・「震天動地」発行（卒業生）

県外へ進学・移住される方は各支部にぜひご連絡ください！
センターが歓迎します！

- 東京支部長：吉田 英雄（14期）☎03-3388-3096
- 関西支部長：鎮西 忠信（15期）☎078-708-7236
- 福岡支部長：安室 米蔵（16期）☎090-8352-2508
- 熊本支部長：我那覇生純（39期）☎090-3010-9803
- 鹿児島支部長：宇根 文穂（23期）☎099-254-3096

【年会費納入のお願い】同窓会の年会費は1,000円です。納入にご協力をお願いします。（終身会費は3万円です。）

養秀同窓会は、すべての同窓生の皆様からお納めいただく年会費などで運営されています。年会費は同窓会の運営や母校の発展のため大切に使用させていただいております。年会費納入へのご協力をお願い申し上げます。また、ご友人や周りの同窓生の方へお声かけもお願いできれば幸いです。

振込先

- ゆうちょ銀行 02040-5-45144 一般社団法人養秀同窓会
- 【金融機関からお振込みの場合】二〇九店（当）45144 一般社団法人養秀同窓会
- 琉球銀行 首里支店（普）582610 一般社団法人養秀同窓会 会長 與儀毅
- 沖縄銀行 鳥堀支店（普）1403491 一般社団法人養秀同窓会 会長 與儀毅
- 海邦銀行 汀良支店（普）0243002 一般社団法人養秀同窓会 会長 與儀毅

震天動地 卒業生号 第23号2023年3月1日【発行人】一般社団法人養秀同窓会【会長】與儀 毅【発行責任者】広報部会

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-7 養秀同窓会事務局 TEL&FAX：098-885-6437 E-mail：youshu@woody.ocn.ne.jp youshu.com shurikoh

